

まち の 話題

大屋の芸術家10人が作品展開催

6月16日から24日にかけて、大屋を拠点に創作活動を営む芸術家10人による作品展「うちげえのアートおあや」が、大杉のふるさと交流の家「いろり」など3会場で開催されました。

これは、作品展での交流を通して大屋地域の活性化などを目指すもので、今年で12回目となります。

会場には、書道、陶芸、木彫、絵画などの作品約400点を展示。会場を訪れた豊岡市日高町の女性は「作品と古民家が調和しており、素朴な感じがして心が落ち着きます」と会場の雰囲気を楽しんでいました。

出品者の一人である田中今子さんは「古民家の雰囲気を生かした展示を心がけました。多くの方に足を運んでいただき感謝します」と話しました。

▶古民家に展示された作品を鑑賞する来場者



養父地域で第3回養父市防災訓練

阪神・淡路大震災と平成16年台風23号災害などの被災経験と教訓を忘れず、将来起こる可能性がある災害へ備えることを目的とした養父市防災訓練を6月24日、養父中学校グラウンドで実施しました。

同防災訓練は、平成17年度から各地域別に実施しているもので、今回は八鹿地域、関宮地域に続いて3回目となります。

今回の訓練には、地域住民や国・県の関係機関、自衛隊など約1000人が参加。午前9時半に南但馬地域を震源とする震度6強の大地震が発生

したことを想定して行われ、避難指示を受けた広谷地区の住民と養父中学校の生徒らが同体育館に一齐に避難した後、バケツリレーや消火器を使っ



倒壊家屋からの負傷者救出訓練

た初期消火訓練を行いました。

倒壊家屋からの負傷者救出訓練では、消防隊員が倒壊家屋の屋根に工具で救出口を作り、閉じ込められていた負傷者を迅速に救出。このほかにも、自衛隊による仮設テント設置訓練や、応急救護所の設置・運営訓練なども行われました。

閉会式では梅谷市長が「訓練の成果を、今後の防災活動に生かしていきます。また、地域で住民同士のきずなを深め、協力しながら万が一に備えることも大切です」と講評しました。



バケツリレーによる初期消火訓練